

県立高等学校における多様な学びの在り方に関する答申について

1 諮問の理由

- 「第3期県立高校将来構想」では、「目指す学校づくりの方向性」の1つとして、学びの多様化への対応を掲げている。
- 定時制課程については、これまでの勤労青年のための学びの場としての役割に留まらず、様々なニーズに応える学校づくりを推進することとしている。
- 学び直し等の課題については、多様な入学動機や学習歴を持つ生徒への対応など様々な学びのニーズに応える新たなタイプの学校の設置について検討することとしている。
- 今後の定時制課程及び新たなタイプの学校の設置については、これまで既存の全日制高校及び定時制課程が担ってきた役割を踏まえた上で、適正な学校配置も含めて、その在り方を検討する必要があることから、その方向性について県立高等学校将来構想審議会に諮問した。

2 検討経過

検討に当たっては、県立高等学校将来構想審議会に「多様な学びの在り方検討部会」を設置して、具体的な検討を行った。

令和元年 7月 9日	第1回	県立高等学校将来構想審議会
令和元年 7月30日	第1回	多様な学びの在り方検討部会
令和元年10月15日	第2回	多様な学びの在り方検討部会
令和元年11月11日	第3回	多様な学びの在り方検討部会
令和元年12月26日	第4回	多様な学びの在り方検討部会
令和2年 1月30日	第2回	県立高等学校将来構想審議会

3 答申

令和2年2月13日に、県立高等学校将来構想審議会から宮城県教育委員会に対して答申があった。【別紙】

4 今後の対応

本県における高校の在り方を検討する際に、答申で示された考え方も踏まえながら進めていく。特に「新たなタイプの高校」に関しては、具体的な設置の方向性について検討していく。